

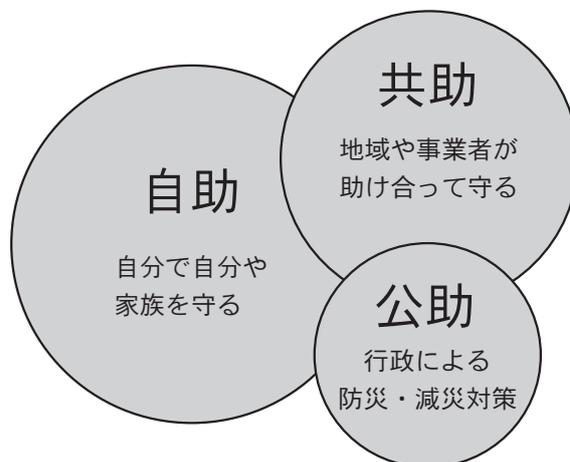
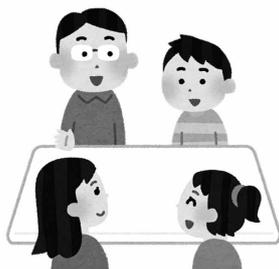
9月1日は防災の日

大正12（1923）年9月1日に発生した「関東大震災」に由来するもので、一人ひとりが災害について認識を深め、これに対処する心構えをするために創設されました。この日を含む1週間は「防災週間」と定められており、毎年各地で防災訓練や啓発行事などが実施されています。

【実際の災害時における被害の軽減には「自助・共助・公助」が不可欠となります】

3つの連携が円滑なほど、災害時における被害が軽減できると言われてしています。

今回は、そのポイントをご紹介しますので、防災の日をきっかけとして、ご家族や周囲の皆さんで防災について一緒に考えてみませんか。



1) 災害時に頼りになるのは“自分自身”

◆自助の重要性

大規模な災害時においては、道路や電気・ガス・水道などのライフラインの寸断、同時多発する火災への対応のため、発災直後の公的な防災関係機関の活動は著しく制限されます。

実際、平成7年に発生した阪神・淡路大震災の被災地では、家屋の倒壊による生き埋めや建物に閉じ込められた人のうち、約67%の方が自力または家族に救助されたとの調査結果があります。救助隊に救助された方は、わずか全体の1.7%に過ぎません。

このように、発災直後の人命救助・初期消火活動など初動段階においては、公助（役場や消防、警察）を頼ることは出来ず、自分自身で何とかしなければ災害を乗り切るとは非常に困難です。

自分自身や家族で何とかすること、これが「自助」といいます。

◆「自助」は何をすればいいの？

「自助」にも、色々な活動があります。

「自分の身は自分で守る」が基本になりますが、実際、災害が発生してから、自分でなんとかしようとしても、そう簡単には何とかできるものではありません。

常日頃からの準備（備え）を行うことが大切になります。

具体的には、次のようなものが「自助」として行うべきことと考えられます。

- (1) 目安として最低限3日程度の飲料水・食糧の備蓄を行う
- (2) 避難する際に備え、非常持出品の準備を行う
- (3) 家族の安否確認方法を決めておく
- (4) 家具の転倒防止を行う
- (5) 家屋の耐震診断・耐震補強を行う
- (6) 隣近所の人と顔なじみになっておく。



このうち、(6)は自助なの？と思われる方もいるのではないかと思います。

自分自身で十分な備えを行っても、100%大丈夫ということはありません。また、家族構成にもありますが、高齢者や障がい者を有する方（いわゆる災害時要援護者）は、自助が弱いために、周囲の助けが必要になります。

その時に必要となるのが隣近所との助け合い（共助）となります。いざというとき、隣近所と助け合える関係を築くためにも、まずは、地域の活動に参加することも大事となります。これは、自ら進んで行うことしか出来ませんので、これも「自助」となります。

大災害は急にやってくる！

“だからこそ備える！！”

2)「もしも」のとき、頼りになるのは隣近所の力！

◆共助の必要性

災害を乗り切るためには、自助が最も重要となりますが、自分自身で十分な備えを行っていても、100%大丈夫ということはありません。

実際の災害時においては、その被害が大きければ大きいほど、支援する側の機能さえ失われ、支援する側が被災によって援護を要する立場になってしまう危険性もあります。

この時に必要となるのが、住民（地域）が連携して地域の安全を守る「共助」になります。

◆「共助」とは何をすればいいの？

「共助」の基本は「隣近所が助け合う」こととなります。

近年、地域における日頃の付き合いが減ってきていると言われている。

近所に人がいるのかさえ分からない状況では、支え合いのしようがありません。

災害時にお互いを支え合える関係を築くためにも、日ごろから近所の人を知り、仲良くなっておくことが大切です。

具体的には、次のような取り組みが「共助」に繋がります。



(1) 近所の人に“あいさつ”をする

(2) 近所の人を知ること

お互いを知り、仲良くなるのが大切です。

※相手のプライバシーを根ほり葉ほり聞くことはありません。

(3) 積極的に地域のイベントに参加する。

地域の行事への参加は、知り合い・友人を増やす貴重な機会ですので、自分自身の都合の中で参加することが大切です。

(4) 災害時において人のためにできることを考える。

3) 南幌町としての取り組み（公助）

①公共施設の耐震化

公共施設の耐震化を計画的に行うことで、災害に強いまちづくりを目指しています。

②災害備蓄品整備

町では災害備蓄品整備計画に基づき、備蓄用消耗品や備品を計画的に購入することで、大規模災害時の応急対応に備える取り組みを行っています。

町での備蓄品整備状況については、町ホームページで公表しています。

【http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/kurasi/bousai/bousai_001_4_3/】



③啓発

防災意識の向上を図るべく防災学習会や出前講座を通じて啓発を行っています。

【総務課総務G】